

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公 開 特 許 公 報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開平10-229295

(43) 公開日 平成10年(1998) 8月25日

(51) Int.Cl.⁶

H 0 5 K 13/02

B 2 3 P 21/00

識別記号

3 0 5

F I

H 0 5 K 13/02

B 2 3 P 21/00

Z

3 0 5 B

審査請求 未請求 請求項の数 1 O L (全 8 頁)

(21) 出願番号 特願平9-32017

(22) 出願日 平成9年(1997) 2月17日

(71) 出願人 000178022

山形カシオ株式会社

山形県東根市大字東根甲5400番地の1

(72) 発明者 高橋 孝之

山形県東根市大字東根甲5400番地の1 山
形カシオ株式会社内

(74) 代理人 弁理士 大曾 義之

(54) 【発明の名称】 部品供給装置の載設不良検知装置

(57) 【要約】

【課題】 三様の形態で生じる部品供給装置の載設不備を簡単な機構で検出する部品搭載装置の載設不良検知装置を提供する。

【解決手段】 部品供給装置40が装着台31に正しく載設されると、テープの押え板51と一体な垂直板52に形成されている光透過孔53が所定の位置に定位する。また、クランプレバー55は下端の係合ローラ56が装着台31下面の係合部に正しく係合して、上端部の光路開閉部57が光透過孔53よりも外側の位置に回動し、光透過孔53を通過する光学センサ41の発光部41aからの光ビーム42の光路を開放する。受光部41bからは載設状態可を示す信号が出力される。部品供給装置本体に浮きがある又はテープ押え部材に浮きがある場合は光透過孔53の位置がずれ、垂直板52が光路42を遮断する。浮きがなくてもクランプレバー55のロックが不良であると、光路開閉部57が光路42を遮断する。



